



拝一小だより

やさしく つよく よく考え
手をつなぐ 拝島の子

昭島市立拝島第一小学校 校長 鵜川 雅行

学校HP: www.city.akishima.ed.jp/~haijima/

TEL. 042-541-1044 FAX 042-541-7894

互いの存在を尊重するとは？

校長 鵜川 雅行

先日、電車に乗って自宅に帰るとき、目の前の席が空いたので座ろうと行動を起こしたのですが、横に立っていた若者がずっと体を入れて先に座りました。行動の遅かった私はその素早さに驚くばかりでした。その数日後、自転車が入ってこられないような車止めのある歩道で、向こうから歩いてきた若者が見えました。これは同じタイミングで通り抜けることになりそうだったので、止まって若者が先に通ることを待ちました。すると、その相手は、お先にどうぞという仕草をして止まってくれました。思わず私は「ありがとう」と声を掛け、会釈をして通り過ぎました。昔はやった交通標語「お先にどうぞ、ありがとう。狭い日本そんなに急いでどこに行く。」を思い出しました。



ほんの数日の間に、正反対の行動を体験し感じたことは、「**相手を意識する**」ことです。コンプライアンスの厳しい時代、多様性を認める時代において、**相手のことを考えることは当たり前のように言われています**。しかし、**本当の意味で相手のことを見ているのか**、身近に存在している人のことを**本当に大切にしているのか**疑問に思いました。目に見えない架空の存在や、もしかしたら存在するかもしれない相手に対して思いを巡らし、防御する態勢をとらざるをえない時代になり、窮屈な思いをしているのかもしれませんが、スマートフォンにかじりつき、**自分の世界に入り込んでしまいがちですが、電車の中で困っているお年寄りに気付かなかったり、自分のことしか見えてなかったりする世の中は、どこか物寂しいように感じます**。



昔、日本人のよさは「謙虚なところ」「**相手を立てるところ**」「**思いやりのあるところ**」と言われた時代があります。逆にそこが日本人の弱いところで「**自己を主張しない**」「**自分の意見がない**」と揶揄されたこともあります。しかしどうなのでしょう？**相手に道をゆずれる人は「心に余裕をもっている」「相手のことを意識している」人**で、**自身の考えがあるからこそ、相手のことを考えることができるのではないのでしょうか？**道を譲られて、思わず「ありがとう」という言葉の出る世の中は、**ゆとりのある、思いやりのある世の中であり、人権を尊重した世の中であるように思います**。自己の主張をすることはもちろん大切なことです。しかし、**主張を聞き入れてくれる相手がいなければ、独りよがりの世の中になってしまうのではないのでしょうか？**互いの考えを尊重することは、**互いの存在を意識し認めることが必要**です。同じ世の中に生を受けた人間に必要な存在はありません。優劣を付けたり、比べるたりすることで、**存在を否定することにつながってはならない**のです。ありのままの存在を互いに認め合い、身近にいる相手を大切な存在と考える事からスタートすれば、地球の温暖化も、差別も、戦争もなくなるのではないのでしょうか。**顔を上げ、身の回りの人の存在を感じる余裕をもちたい**と考えたひとときでした。



11月の生活目標「外で元気よく遊ぼう」

＜11月の行事予定＞

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
				1日 ふれあい月間始 安全指導 お弁当の日 生活科見学 (1・2年)	2日
4日 振替休日	5日 拝一ピック③ 学級満足度調査②	6日 避難訓練 委員会⑦	7日 小学校音楽会 (6年 AM)	8日	9日 土曜補習⑧
11日	12日 なかよし班	13日 クラブ⑥	14日 音楽会 (リハーサル)	15日 音楽会 (児童鑑賞日)	16日 土曜授業 短縮4時間 音楽会 (保護者鑑賞日)
18日 振替休業日	19日 算数到達度調査始 会場片付け(5年)	20日 クラブ⑦ ※PTAベルマーク クラブ	21日	22日	23日 勤労感謝の日
25日 持久走月間始	26日	27日 4時間授業	28日	29日 ふれあい月間終 授業参観・保護者会 (1・4年)	30日

※20日 PTAベルマーククラブ…13:15～15:30 1F 多目的室にて行います。詳しくはHPにてご確認ください。

思いが集まる音楽会

担当 肥土 真紀

11月15日(金)、16日(土)は音楽会です。学校内は授業ではもちろん、休み時間でも様々な楽器の音色であふれています。体育館がコンサートホールになる瞬間を待ち遠しく感じます。

演奏自体はたったの数分間です。しかし想像力を働かせれば、その数分を生み出すのに費やされた時間と成長、そして悩んだり喜んだりしながら耕してきた、思いや願いのようなものを感じ取ることができます。それらが体育館に集結して奏でられる音楽は、どんなに拙くても、今しかできない素晴らしい自己表現の形です。

参観の際にはご家庭にご協力いただくことも多々あります。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いします。
※保護者鑑賞日は16日です。

冬の持ち物について

生活指導主任 小林 みゆき

朝夕、寒い日が増えてきました。危ないので、ポケットに手を入れて歩くことがないよう、寒い日には、手袋を着用させてください。休み時間後や昼間は暖かくなることがありますので、上着などで調整できるようにしましょう。教室では、ダウンジャケットやコートなど外用のジャンパーではなく、室内用の上着にしてください。

また、学習の妨げやトラブルの原因になりますので、カイロ、リップクリーム、ハンドクリームは持ってきません。やむを得ない事情がある場合は、担任にご相談ください。

例年、手袋や上着等、たくさんの落とし物があります。必ず記名をするようにお願いします。ご協力、よろしくお願いします。

4年生の様子

第4学年担当 児玉 倫惟

「笑顔と学びの体験プロジェクト」の一環で、「車いすバスケットボール」を体験しました。子供たちは関係者の方から話を聞いたり、車いすに乗って、バスケットボールを体験したりしました。子供たちは実際にやってみると動きが難しいけど、楽しいと感想を話していました。(詳しくは学校HP第4学年のページをご覧ください)